

# KOCHI 2012 ROTARY 2013 CLUB SINCE 1937



2012-13年度国際RIテーマ

## 週報



Weekly report 第3101回 2012年11月6日 2012年11月13日発行

### ● 会長挨拶



皆さん、こんにちは。  
 ちょっと一杯の件で、先日気になることがありました。毎年1回成人病検査をしていますが、今年はMRIの検査も久しぶりに受けました。担当の先生が、私の脳の写真を、5年前と比較しながら「分からんかもしれないませんが、この2つの写真は少しだけ違いがあります。そんなふうに見えませんか」「全く同じに見えますけれど」「一般の方にはそう見えるでしょう。機械が新しくなっているので全く同じ位置の写真でないので絶対とは言いにくいけれど、私は何千人もの人の頭を見てきている専門家として、よく見たら少しだけあなたの脳が縮んでいるように見えます」。見えないこともありませんと言われました。

「それはどういうことなのでしょう」「一般的な意味の低脳化ということではありません。いわば、千頭さんの本来の脳としての最大能力が少しずつ落ちていってるんじゃないかなということですよ」と言われて、かなりショックを受けました。「はあ、低脳化ですか。その原因は何でしょう」「確か、問

診票にあなた毎晩酒を飲むと書いてますよね。それは本当ですか」「ええ、私は昔から嘘と坊主の髪はゆうたことがない」「それなら、間違いなく毎日の飲酒が最大の原因です」さすがの私もそこで多少の反論をしました。

「しかし、私は先祖の代から毎晩のように酒を飲んでいきます。私の親父も80幾つで死ぬまで毎晩飲んでましたが、全くアルツハイマーの気もありませんでした。それに昔から酒は百薬の長と言うではありませんか」「そういう人が多いんですがその俗説は完全に間違いで、最近の研究では完全に否定されています。お酒は1滴でも飲むと、必ず脳に悪影響があります」と言うんですね。私もさらにたたみかけて「しかし先生、私の場合は飲めば飲むほど気持ちよくなるので、これは脳にいいんじゃないですか」「その気持ちよくなるのが一番悪いんです。飲酒というのは、どうしてもやむを得ない場合以外はできるだけ控えることをお勧めします」

私は自分が正しいことには自信があったのですが、これはどこかの国との間みたくに水掛け論になるなと思いましたので途中で反論を止めました。多分、その先生はお酒に恨みがある方だと思います。皆さんがどうお考えになるかは自由ですが、最近アルツハイマーを大変心配しておられるガバナーエレクトのために、今日のお話をしました。

### 高知クラブが心を1つにして支える 関裕司ガバナーエレクト

#### ■活動報告他

- ・11月18日(日) ガバナー補佐研修会／三翠園ホテル
- ・11月26日(月) ロータリー財団地域セミナー／東京
- ・11月27日(火) 第2回ガバナー会議／東京
- ・11月28日(水)29日(木) ロータリー研究会／東京

■今更聞けないロータリー用語 ■ ※下記 ― は訂正箇所

- ・地区協議会 … 地区内の全クラブの次年度の会長、幹事のほか次期地区ガバナーおよびRI理事会より指定された各クラブの指導者の協議会(勉強会)のこと。



### ■本日のプログラム [11月13日]

会員スピーチ 高野 一郎 会員

会	長	千	頭	邦	夫
副	会	広	末	幸	彦
幹	事	中	村	裕	司
副	幹	前	田	道	雄
会	報	吉	門	文	恵
責	任				

● **ロータリーソング** 「君が代」 「四つのテスト」

● **今週のピアノ曲** 「初恋」 ピアノ演奏：山内りり会員

● **来訪ロータリアン**

東京 R C 入交太郎氏  
高知東 R C 三島弘幸氏

● **お客様**

米山記念奨学生 王 静芸さん

● **幹事報告**



- ・例会終了後、理事会を行います。
- ・ガバナーより、2020 東京オリンピック、パラリンピック招致協力をお願いとして、リーフレットとピンバッジが届いています。
- ・地区大会の案内がきています。積極的な登録をお願いします。仮登録締切は 12 月 10 日です。



● **ゲストスピーチ**

**高知へ行こうち 草の根活動**

高知県観光コンベンション協会  
プロモーション部主事 地場 裕理子 氏

私は、I ターン者として、昨年 4 月に高知にやってきました。私は神奈川県藤沢市の出身で、大学を卒業して 15 年程、東京の民間企業で働いていました。営業や役員秘書の仕事など、自分ではバリバリと働いていた方ではないかと思えます。そんな私がなぜ高知に来たのかというと、当時、一人



で住んでいた東京の下町の大家さんにとってもよくしていただきました。東京にしながら近所の人たちとの繋がりが温かく、住んでいる町に支えられていることを実感しました。そこで、日本のまちづくりや地域づくりはどうなっているんだろうと思い、社会人学生として大学で学び直しを始めました。その時、研究フィールドとして紹介されたのが高知県だったわけです。

それまでは、観光でも仕事でも高知には来たことがありませんでした。大学の勉強をきっかけに初めて高知に来て、在学中にかかわったプロジェクトで、NPO 土佐はちぎんネットで活動するようになりました。その時、大学を無事修了したら高知で働いて暮らせた



らいいなと思っていたら、願うは叶うというか、現在の職場の職員公募があって、無事採用になったということです。私は今、高知県観光の広報担当で、パンフレットを作ったり、広告に出稿したりといった仕事をしています。

Iターンをする人の話は聞いたことはあったのですが、まさか自分がそうなるとは全く思っておりませんでした。Iターンというと農業をやろうとか伝統工芸を引き継ごうとか、高い志があって来るのだというイメージがありました。私の場合はもうちょっとお気楽というか、好きな高知に暮らしたいというのが一番の動機でした。今、テレビで放映中の「遅咲きのヒマワリ」の主人公も、いろいろ事情はあったようですが、割と軽やかに高知にやってきます。こういう形のIターンというのが、これからの現実的な形でのIターンなのではないか、長続きするIターンの姿なのではないかなというふうに思っています。そんな人をもっと増やしたいですし、自分自身が高知に来て1年半、とても充実した生活を送っています。そんな暮らしを高知県以外の人にも知ってもらって、高知や日本の地方に興味を持って訪れて楽しさを知って欲しいというのが、私の思いです。

観光の仕事をしなが、プライベートでも具体的な成果に結びつけたいと思って勝手に名づけたのが「高知に行こうち活動」です。ただ、見てください、来てくださいと言うだけではなく、素敵、おいしそう、羨ましい、高知に行かないと損するかもというようなマーケティング的な発想の活動だというふうに、自分の中では整理しています。高知は、行ったことのない県の1位だったり、リピート率が少なかつたりしますので、高知に来たことのない人を高知のファンにしましょうというのも活動の1つです。個人レベルでできることとして、まず情報発信にはフェイスブックを使っています。常の暮らしを気軽に発信できますし、情報収集にも有効です。今までの情報発信の記録がデータとして残っていますので活動を振り返ることができます。ですから、活動を支える1つのツールではありませんが、フェイスブックありきではありません。

情報発信をする過程で、高知のことをいろいろ調べますので、自分自身の高知に関する知識も増えるトレーニングにもなっています。結果的に自分の仕事の広報にも役立っています。単においしいものを挙げるだけではなくて、もちろん、龍馬のことやよきこい祭り、あるいは喫茶店の数が日本一多いとか、高知でしか食べられない食材、高知城の情報や、高知の気候などを載せています。その私のコメントに対して実際に反応があってコメントが返ってきたりすると、とても嬉しいものです。

このフェイスブックに投稿しっ放しではなくて、集計を試みようとして簡単な分析をしました。2011

年7月から2012年10月まで、私の投稿に対して2658件（そのうち県外が1800件弱）の反応がありました。その中で、2012年7月や10月などが投稿に対してのリアクションは良かったという結果が出ています。では、その時、どんな投稿をしていたかというところ、じゃらんという旅情報誌の宿泊調査で、3年連続食の分野で高知が1位になったこと、「県庁おもてなし課」や「遅咲きのヒマワリ」のロケのことなどですが、やはり食の話題に関してはとても多くの反応があります。特別なごちそうではなくて、日常の定食やお総菜など、例えばリュウキュウやイタドリなどの料理を出すと、女性だけでなく男性からも反応があります。ですから、やはり食は高知のブランドイメージを定着させるチャンスでもあるし、非常に強いところだと思います。こういった繋がりから、この1年半に高知に来られた方は約50人。グループで来られた方もいますが、思ったよりも来ているなど自画自賛しています。この高知へ来てくれた方達が、またフェイスブックから情報発信をしてくれます。

元々、高知に住んでいる人もIターンやUターンで高知に帰って来た人も、まず大事なのは本人の暮らしが生き生きしていること。充実して楽しいんだということを発信することだと思います。そして、情報収集も大事だと思います。私が高知に来て感じたのは、意識して情報を取りにいかないと、高知のことしか知らないという状況になりがちだということです。高知の価値を伝えるには、相手方の状況に合わせた切り口や表現、内容にする必要があります。事情が分からなければ一方的な発信になってしまい、伝わらないことになります。情報収集にハンディがあることをもう少し意識してもいいのかなと、私自身の広報の仕事としても思っています。

これからは、今まで高知に来てくれた人たちをリピーターとして、再び来てもらえるような活動と、移住者同士のネットワークも広げて、縁が縁を呼ぶ高知になるように頑張っていきたいと思っています。



◇ 例 会 変 更 ◇

高知南RC	11月15日→16日	山形西RC歓迎夜間例会(阪)	高知中央RC	11月15日	職場例会(城)
高知西RC	11月16日	夜間例会(三)	高知RC	12月18日	忘年夜間例会(三)
高知ロイヤルRC	12月18日	ロータリー休日(旭)	高知東RC	12月19日	忘年夜間例会(阪)
高知中央RC	12月20日	クリスマス夜間例会(城)	高知西RC	12月21日	夜間例会(三)
高知RC	12月25日	ロータリー休日(三)	高知ロイヤルRC	12月25日	夜間例会(旭)
高知東RC	12月26日	ロータリー休日(阪)	高知南RC	12月27日	夜間例会(阪)
高知中央RC	12月27日	ロータリー休日(城)	高知西RC	12月28日	ロータリー休日(三)
高知北RC	12月31日	ロータリー休日(三)			

※サインメーカーキャップのできるホテル (三)… 三翠園 (城)… 城西館 (阪)… 高知新阪急ホテル (旭)… ホテル日航高知旭ロイヤル

 **ニコニコ箱**

- 入交 太郎 本日もスピーチを免除していただきありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。
- 広末 幸彦 結婚記念日お祝いのお礼。11月4日で35年です。丁度、この日、澁谷食品さんにお世話になっている次男が結婚しました。サプライズで子どもたちに祝ってもらいました。ビックリやら感謝やら、ありがとうございました。
- 中村 裕司 先週の次年度ガバナー事務局連絡会議、お疲れさまでした。私たちの懇親会のために貸切で会場を提供していただいた吉村会員に感謝。
- 筒井 善樹 ひとりぼっちの誕生日、お祝いいただきありがとうございました。緊張しました。
- 入交 章二 結婚記念日お祝いどうもありがとうございました。
- 川添 博 君が代を歌っている時に今月の結婚記念日を思い出しました。ありがとうございました。
- 杉本 芙美子 結婚記念日を祝っていただきありがとうございました。いつの間にか44年も経ちました。本日スピーチの地場様が高知を選んで転入してくださったのと違い、好む好まざるに関係なく転入して44年です。今はすっかり高知県人のつもりです。
- 森本 征彦 先週土日に高知工業高校創立100周年行事が開催されました。宮地会員が実行委員長、創立者の吉田茂元首相の長兄、竹内明太郎先生の曾孫のお2人も参加され、盛大に開催されました。高知RCの会員にもご支援をいただき、お礼にニコニコします。
- 吉門 文恵 千頭会長の今日のお話にありました「低脳化」です。  
週報の“今更聞けないロータリー用語”に誤りがありました。すみません。  
「地区協議会」の文末→指導者のこと、ではなくて→指導者の協議会(勉強会)のこと、です。  
訂正し再度掲載致しました。参考書「ロータリー情報集」のとおり入力したはずの文字が欠けておりました。  
ガバナーエレクトより、「・・・進んできたねー。」と「やっぱりそうかも…」会報責任者

◇ 出 席 率 ◇

	総数	出席	欠席	マークアップ	出席率
11月 6日	(-8)87	47	22	10	72.15
10月23日	(-7)87	56	11	24	86.25

● 累計額 [11月6日現在]

ニコニコ箱	409,600 円	ロータリー <small>さんさん</small> 燦燦基金	63,554 円	ポリオ募金	154,000 円
-------	-----------	--------------------------------	----------	-------	-----------

■次週のプログラム [11月20日]

ゲストスピーチ  
NHK高知放送局放送部  
ディレクター 筒井 芳典氏  
『「光る森～神秘の発光を追う～」取材秘話』

創 立 昭和12年10月  
例 会 日 火曜日 12:30~13:30  
例 会 場 三翠園ホテル TEL(822)0131  
事 務 局 高知市本町3丁目2-15 高知新聞放送会館1階  
TEL(824)8660 FAX(824)2529  
HPアドレス <http://www.221.ne.jp/kochirc/>